

8つの重点施策

写真で見る 新年度予算

① 市民の声と力を生かすまちづくり



▲元気なかのやづくり意見交換会議

● 主な事業

- ①市税等コンビニ収納事業
(984万2千円)
- ②地域コミュニティモデル推進事業
(820万5千円)
- ③元気な地域づくり推進事業
(600万円)
- ④かのやばら園魅力アップ事業
(2,936万7千円)

② 地域を元気にする産業づくり



▲全国和牛能力共進会

● 主な事業

- ①かのやブランド推進事業
(1,364万円)
- ②6次産業化推進事業
(452万3千円)
- ③元気なかのやづくり推進事業
(かのや産業物語)
(1,771万2千円)
- ④肉牛経営安定緊急対策事業
(1,071万円)

③ 地域で支えあう健やかで心のかようまちづくり



▲幼児体育能力向上支援

● 主な事業

- ①自立支援プログラム策定実施推進事業
(275万9千円)
- ②子育て支援交付金事業
(3,927万7千円)
- ③保育対策等促進事業
(1億5,553万5千円)
- ④在宅高齢者等介護慰労金支給事業
(3,235万2千円)

④ 安全・安心な暮らしのあるまちづくり



▲古江地区津波避難訓練

● 主な事業

- ①防災・行政・地域情報伝達システム整備事業
(6億5,979万5千円)
- ②鹿屋市体育館大規模改修事業
(2億2,516万3千円)
- ③元気なかのやづくり推進事業
(簡易貯留施設モデル事業)
(2,232万円)
- ④雨水排水総合対策事業
(1,394万8千円)

⑤ 快適な生活を支えるまちづくり



▲桜ヶ丘市営住宅建替

● 主な事業

- ①総合交通対策事業
(8,326万5千円)
- ②都市公園等施設管理事業
(6,407万3千円)
- ③幹線道路等整備事業
(2億9,214万2千円)
- ④住宅リフォーム助成事業
(5,255万3千円)

⑥ 自然と環境を大切にするふるさとづくり



▲ごみ減量・リサイクル出前講座

● 主な事業

- ①ごみ減量・リサイクル事業
(4,626万3千円)
- ②地球温暖化対策推進事業
(1,524万3千円)
- ③畜産臭気対策普及推進事業
(231万5千円)
- ④小型合併浄化槽設置整備事業
(2億3,950万4千円)

⑦ 未来の郷土を担うひとづくり



▲鹿屋中学校耐震補強・大規模改造工事

● 主な事業

- ①ふるさと納税活用事業・やねだん芸術家に学ぶ事業
(200万円)
- ②地域に飛び出す人材育成事業
(113万9千円)
- ③小・中学校施設耐震化促進事業
(15億4,590万2千円)
- ④大隅半島の古墳再発見(象嵌装大刀情報発信)事業
(162万5千円)

⑧ 人・モノ・情報を結び、付加価値の高いネットワークづくり



▲かのやばら園ファンタジーナイト

● 主な事業

- ①ばらを活かしたまちづくり推進事業
(2,617万8千円)
- ②グリーン・ツーリズム推進事業
(335万4千円)
- ③ふるさと納税活用・登山&トレッキング誘客促進事業
(89万4千円)



予算編成に当たって

平成25年度当初予算は、
○心豊かでいきいき健やかな「ひと」づくり
○安心して暮らせる快適な「まち」づくり
○にぎわいと活力あふれる「産業」づくり
を基本理念とし、共生・協働の精神のもと、人やまち、そして産業がいいきと躍動する、「元気な「かのや」づくり」を目指した施策・事業を積極的に展開する予算としました。

● 新年度予算の特徴

すべての市民が、安全で安心していきいきと暮らし、未来に希望を抱ける地域社会を構築していくため、
○市民が安全で安心して健やかに暮らせる環境づくり
○市民の声を活かした共生・協働による魅力あふれるまちづくり
○地域産業の持続的発展に向けた基盤づくり
の3つを重点項目として、次の8つの施策体系ごとに事業を推進していきます。

① 市民の声と力を生かすまちづくり
② 地域を元気にする産業づくり
③ 地域で支えあう健やかで心のかようまちづくり
④ 安全・安心な暮らしのあるまちづくり
⑤ 快適な生活を支えるまちづくり
⑥ 自然と環境を大切にするふるさとづくり
⑦ 未来の郷土を担うひとづくり
⑧ 人・モノ・情報を結び、付加価値の高いネットワークづくり

● 会計別予算額の内訳

区 分		平成25年度	平成24年度	増 減 額	前年度比較
一 般 会 計		43,596,000千円	41,793,000千円	1,803,000千円	4.3%
特別会計	国民健康保険事業	13,683,834千円	13,391,423千円	292,411千円	2.2%
	後期高齢者医療	1,060,692千円	1,021,871千円	38,821千円	3.8%
	介護保険事業	10,192,527千円	9,652,743千円	539,784千円	5.6%
	公共下水道事業	1,271,532千円	1,215,778千円	55,754千円	4.6%
	下水道事業	41,442千円	40,328千円	1,114千円	2.8%
	輝北簡易水道事業	290,634千円	317,502千円	△26,868千円	△8.5%
	小 計	26,540,661千円	25,639,645千円	901,016千円	3.5%
合 計		70,136,661千円	67,432,645千円	2,704,016千円	4.0%

● 国民健康保険事業
前年度比2.2%増の136億8,383万4千円となっています。これは、後期高齢者支援金や国保連合会への共同事業拠出金などの増によるものです。

● 後期高齢者医療
前年度比3.8%増の10億6,069万2千円となっています。これは、後期高齢者医療広域連合納付金やコンビニ収納の導入に伴う経費などの増によるものです。

● 介護保険事業
前年度比5.6%増の10億1,252万7千円となっています。これは、地域密着型サービスや在宅サービスをはじめとする介護サービスの利用者数及び給付費の増が主な要因です。

● 公共下水道事業
前年度比4.6%増の12億7,153万2千円となっています。これは、王子雨水幹線建設工事や西原地区をはじめとした汚水幹



● 水道事業

区 分	当初予算額
収益的収入	1,632,399千円
収益的支出	1,500,535千円
資本的収入	7,219千円
資本的支出	609,524千円

● 水道事業
水道事業会計予算は、収入源と支出用途の性格によって、収益的収支と資本的収支に分かれます。
収益的収支は水道事業の経営活動に、資本的収支は水道施設の整備事業に充てられます。

線・枝線工事などの建設事業費の増が主な要因です。